

動画制作の相場とは？

動画は今や企業や行政の PR に欠かせないツールとなっています。しかし、費用や相場が分かりにくいことも多いので、開示されている情報や業界内でのヒアリング調査から本資料にまとめました。

この資料では主に以下の内容を紹介します：

- 種類別の費用相場と解説
- 依頼先別の相場
- 費用を抑えるコツ・制作依頼の手順とポイント

種類別の費用相場 一覧

各種類の動画の費用相場をまとめました。

映像の種類	低価格帯	中価格帯	高価格帯
会社・事業紹介動画	5万円～30万円	30万円～80万円	80万円～300万円
商品・サービス紹介動画	5万円～30万円	30万円～80万円	80万円～300万円
セミナー動画	3万円～10万円	10万円～30万円	30万円～100万円
SNS動画（Insta等）	1万円～10万円	10万円～30万円	30万円～50万円
Web CM（6-60秒）	30万円～100万円	100万円～300万円	300万円～1,000万円以上
ブランディング映像（1-3分）	50万円～150万円	150万円～500万円	500万円～1,000万円以上
TV CM（15-30秒）	100万円～300万円	300万円～1,000万円	1,000万円～5,000万円以上
アニメーション	10万円～50万円	50万円～150万円	150万円～500万円以上
ドラマ（Web/TV向け、1話）	300万円～1,000万円	1,000万円～3,000万円	3,000万円～1億円以上
映画（邦画・長編）	1,000万円～5,000万円	5,000万円～3億円	3億円～10億円以上

費用相場の解説

動画制作の費用相場がわかりにくい理由は 3 つあります：

1. 依頼先の違い：個人か会社かで大きく変わります。
2. 作業内容や工程の違い：撮影・編集の量や質で変わります。
3. 依頼内容による変動：動画の用途によって適した構成や表現方法が異なるためです。

下記にて、動画の用途・種類に沿って相場を解説します。

① 会社・事業紹介動画

- 5万円～30万円：写真やスライドを活用した簡易動画。ナレーションなし/社内スタッフが説明。
- 30万円～80万円：社員インタビューやオフィス撮影を含む動画。半日～1日撮影。
- 80万円～300万円：ストーリー性のある動画。プロのキャスト・ナレーターを起用。

② 商品・サービス紹介動画

- 5万円～30万円：静止画＋テロップのスライドショー形式。
- 30万円～80万円：実際の商品撮影＋アニメーション・エフェクト追加。
- 80万円～300万円：演者を起用し、ストーリー仕立てで作成。

③ セミナー動画

- 3万円～10万円：カメラ1台で撮影、最低限の編集。
- 10万円～30万円：複数アングルで撮影し、テロップやスライド挿入。
- 30万円～100万円：プロの映像編集、ナレーション追加、マルチカメラ編集。

④ SNS 動画 (TikTok・Instagram 等)

- 1万円～10万円：スマホ撮影＋簡単な編集。
- 10万円～30万円：プロのカメラマン撮影、編集、エフェクト追加。
- 30万円～50万円：ブランド戦略に沿った高度な編集・演出。

⑤ Web CM (6-60 秒)

- 30万円～100万円：シンプルな構成で撮影・編集。
- 100万円～300万円：プロの演者・ナレーターを起用し、ロケ撮影あり。
- 300万円～1,000万円以上：映画並みの演出・撮影・編集。

⑥ ブランディング映像 (1-3 分)

- 50万円～150万円：シンプルなブランドストーリー動画。
- 150万円～500万円：高品質な撮影、ドローン映像やCG演出。
- 500万円～1,000万円以上：映画レベルのクオリティ。

⑦ TV CM (15-30 秒)

- 100万円～300万円：ローカル放送向けCM、シンプルな構成。
- 300万円～1,000万円：全国放送向け、プロの演者・演出を導入。
- 1,000万円～5,000万円以上：著名タレント起用、大規模撮影、CG/VFXあり。

⑧ アニメーション

- 10万円～50万円：簡単な2Dアニメーション（アイコンや図解）。
- 50万円～150万円：詳細な2Dアニメ、短尺3Dアニメ。
- 150万円～500万円以上：本格的な3Dアニメ、映画品質の制作。

⑨ ドラマ (Web/TV 向け、1 話)

- 300万円～1,000万円：Web配信向けの低予算ドラマ。
- 1,000万円～3,000万円：TV放送向け、ロケあり、プロの演者を起用。
- 3,000万円～1億円以上：大規模セット、著名キャスト、映画並みの制作。

⑩ 映画（邦画）

- 1,000万円～5,000万円：低予算映画、限定上映向け。
 - 5,000万円～3億円：一般的な商業映画、全国上映向け。
 - 3億円～10億円以上：大規模映画、著名キャスト・スタッフが参加。
-

依頼先別の費用相場

映像制作の費用相場がわかりにくい理由のひとつとして、依頼先の違い（個人か会社）があります。下記にて、個人（フリーランス）と会社（制作会社・広告代理店）の違いを説明します。

個人（フリーランス）への依頼

- 費用相場：3万円～15万円程度
- 特徴：
 - 主に撮影や編集など、作業の一部分を請負
 - YouTubeの撮影や簡単な編集が得意
 - 企画やマーケティング設計は自社で行う必要がある
- 注意点：個人への依頼は発注するまで相性がわからない場合が多いので、質を求める場合は既存の繋がりや紹介でお願いする事が多い印象です。逆に質を求めない場合はクラウドソーシング等の活用をお勧めします。

制作会社への依頼

- 費用相場：30万円～5,000万円程度
- 特徴：
 - 企画から納品まで全工程を依頼可能
 - 一定以上のクオリティが保証される
 - 進行のスムーズさ、納期、契約面で安心
- 注意点：得意分野や実績に違いがあります

広告代理店

- 相場：100万円～数億
- 特徴：TVCM配信やPRも含めた総合的なサービス
- 注意点：動画制作自体は外部委託することが多い

選び方のポイント：

- 予算や品質要求に応じて選ぶ
- ビジネス用なら、経験がない限り動画制作会社か広告代理店がおすすめ
- 時間に余裕があれば、実績のある複数の業者から見積もりを取るのが良い

費用を抑えるコツ：費用を抑える方法としては、以下の方法があります。

- **企画をシンプルにする**：撮影場所や出演者の数を抑え、シンプルな構成にする。
 - **撮影日数を短縮する**：撮影日数を減らし、撮影場所を限定する。
 - **自社で素材を用意する**：写真や素材を自社で準備し、制作会社に提供する。
-

制作依頼の手順とポイント

映像制作をスムーズに進めるためには、適切な手順と重要なポイントを理解しておくことが大切です。

以下に、一般的な映像制作の依頼手順と、その際の注意点をまとめました。

① 目的とターゲットを明確にする

何のために映像を作るのか？

- ブランド認知向上（例：ブランディング映像、TV CM）
- 商品・サービスの販促（例：Web CM、商品紹介動画）
- 採用活動（例：会社紹介、社員インタビュー）
- 教育・研修（例：マニュアル動画、セミナー動画）

ターゲット層を明確にする

- 年齢・性別・職業・興味関心を具体的に想定する。
- BtoB か BtoC によって映像のトーンが変わる。

ポイント

- ・目的が曖昧だと制作会社との認識ズレが発生しやすい。
- ・事前に「何を伝えたいのか？」を整理することが重要。

② 制作会社を選定する

映像制作会社を選ぶ際は、以下のポイントを確認しましょう。

実績・ポートフォリオ

- 自社が作りたい映像と近いテイストの実績があるか？

得意分野

- 広告向け映像（CM・プロモーション）
- アニメーション動画（モーショングラフィックス、CG）
- 採用・教育向け動画（インタビュー、セミナー）

対応範囲を確認

- 企画から編集まで一貫対応 or 撮影のみ・編集のみ対応？
- ナレーション・BGM・字幕追加の対応可否もチェック。

ポイント

- ・「安さ」だけで選ぶとクオリティに影響が出ることも。
- ・制作会社によって得意分野が違うため、相性が重要。

③ 企画・構成を決める（プリプロダクション）

映像の方向性を固めるために、以下の内容を制作会社と決める。

決めるべき要素

- コンセプト・メッセージ：何を伝えたいか？
- 動画の尺（長さ）：15秒？30秒？90秒？
- シナリオ・ストーリーボード：大まかな流れを作成
- 出演者・ナレーションの有無
- 撮影場所（ロケ or スタジオ）
- 映像のトーン&スタイル（シリアス、ポップ、ドラマ仕立てなど）

依頼時の重要ポイントまとめ

- 目的とターゲットを明確にする（ブレない方向性を決める）
- 制作会社の実績・得意分野をチェックする（相性の良い会社を選ぶ）
- 企画・構成の方向性を明確にする（やりたいこと・やりたくないことをイメージ）
- 撮影・編集のスケジュールを確認する（納期遅延を防ぐ）
- 納品形式や修正回数を事前に確認する（トラブルを回避）

以上、この流れを押さえればスムーズな映像制作が目指せます。

Tokyo New Cinema

わたしたちとオンリーワンの「物語」をつくりませんか？TNC は国際的な受賞実績と世界が認めた「ストーリーテリング」の能力を幅広い企業と行政に提供している会社です。日本には映画製作者協会に認められているプロダクションが 50 数社しかおらず、業界外で製作能力を発揮している企業は稀です。

TNC は 500 を超える事業パートナーと共に「映画」に限らず CM や PR・コンサルティングから教育分野まで幅広いジャンルに向けたストーリー性のある企画を企業・行政に提供しております。

制作実績はこちら：<https://tokyonecinema.com/>